

熱田ブランド推進プロジェクト “あつた人（びと）”になろう！

「熱田の金山」

1 「金山」で思うこと

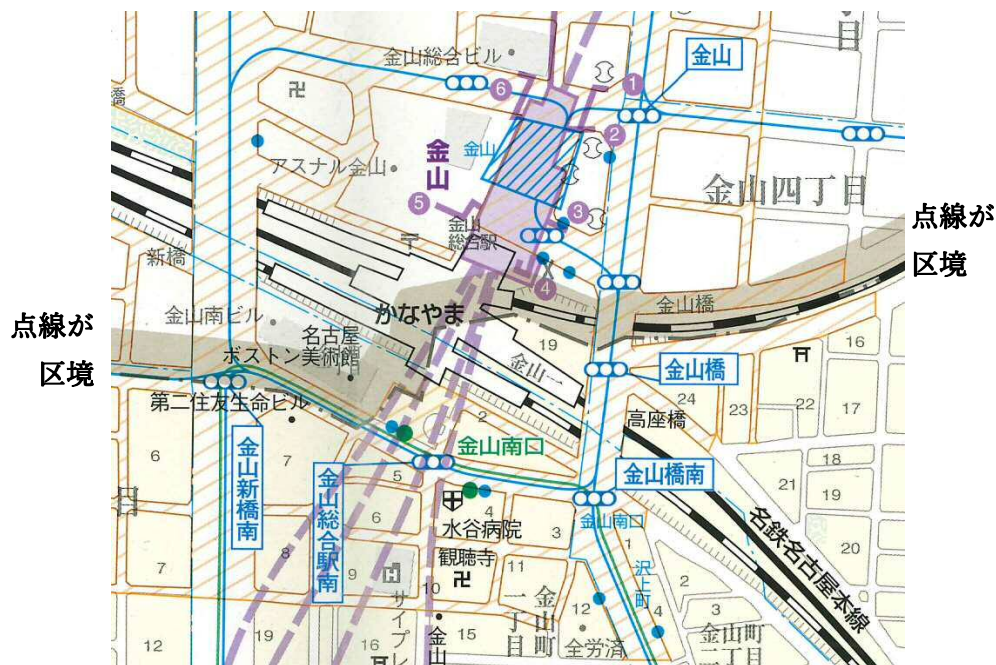
- ・ 中区金山の印象が大きい。金山南ビル、アスナル金山は中区。
- ・ 町名で、中区金山一丁目、中区金山町、熱田区金山一丁目、熱田区金山町がある。地図を見てもすぐに区別ができない。以前に中区と熱田区の区境の変更があり、話がさらにややこしくなる。電話での問い合わせがあると、話が混乱することが多い。
- ・ 気づきにくいですが、金山南ビルは中区で、その東隣の金山南広場は熱田区。
- ・ では、金山神社は何区か？

2 金山駅周辺の歴史

- ・昭和 37 年 国鉄中央線金山駅開業（中区）
- ・昭和 40 年 地下鉄金山駅開業（中区）
- ・平成元年 名鉄金山橋駅移転（熱田区）、金山総合駅完成（中区・熱田区）、
世界デザイン博覧会会場への交通拠点として利用
- ・平成 11 年 金山南ビル整備（中区）
- ・平成 17 年 アスナル金山整備（中区）

3 金山総合駅の住所

- ・J R金山駅住所：中区金山一丁目 17 番 18 号
- ・名鉄金山駅住所：熱田区金山町一丁目 1 番 18 号



点線（－・－）北側が中区、点線南側が熱田区。

平成 22 年現在の地図。

4 熱田区の金山の町名

- ・熱田区金山一丁目（昭 52.5.8 住居表示）
- ・熱田区金山町（道路・河川・鉄道等用地のみ）
- ・熱田区金山町一丁目、金山町二丁目（昭 55.7.13 住居表示）

昭 14.4.1 金山町一丁目、二丁目

昭 19.2.11 金山町一丁目の一部と、二丁目の全部を中区に変更

昭 21.4.15 金山町一丁目の一部と、二丁目を中区から編入



金山南ビルの道路を挟んだ南側にあるビルは、熱田区金山町一丁目にある。

5 中区の金山の町名

- ・中区金山一丁目～金山五丁目
- ・中区金山町一丁目



金山南ビルは、中区金山町一丁目にある。

6 「金山」という地名の由来

もとの東熱田村にあった字名の名残りで、金山社（金山神社）にちなんで名付けられた。中世、鍛冶集団がここに住み、尾張鍛冶発祥の地とも伝えられている。金山の地名は、各地にあり、鍛冶との役割が深い。

7 金山神社

熱田区金山町一丁目にある。昔は金山社と呼ばれていた。創社は、承和年中（834~848年）、神宮鍛冶職尾崎彦四郎の祖・善光が、屋敷内に勧請（かんじょう。神仏のおいでを願うこと。）したことに始まり、尾張鍛冶の発祥の地と言われる。

大祭は、11月8日の「ふいご祭」。かつては火づくりの実演を行っていた。ふいご（火力を強めるために用いる送風装置）、鍛造工程の見本などが陳列。

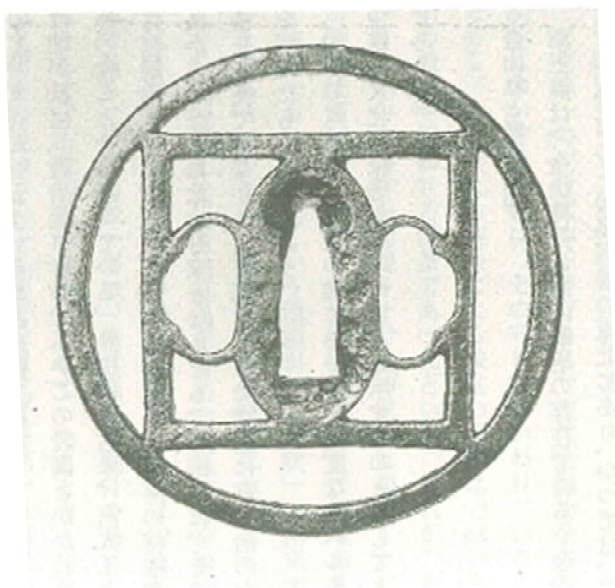




中世鍛冶集団とのかかわりの深い金山神社

8 金山鐔（つば）

- ・ 金山の地で作られた「金山鐔」。
- ・ 製作年代は、室町後期ごろから桃山、江戸初期に至る 5、60 年間と推定。
- ・ 市博物館に数点収蔵。
- ・ 鐔の制作地は所説あるが、尾張金山説が古くから、もっとも信頼性が高く、定説となっている。



金山鐔（つば・桐形すかし文様）

【参考文献等】

「名古屋市 熱田区誌」（昭和 62 年 10 月 1 日発行）、「名古屋まちづくりガイドマップ」（平成 30 年 7 月名古屋市住宅都市局）、「あつた暮らしの便利マップ」、J R 東海公式サイト、名鉄公式サイト